

社会福祉学原理演習

[演習] 後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》志水 幸 [koh@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

この演習では、社会福祉学原理特論の講義にもとづき、各テーマに関する基本的な文献について講読する。

【学修目標】

この演習では、事象としての「社会福祉・ソーシャルワーク」を具体的に再審問することを目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	社会福祉学原理の基本的枠組み	分析枠組みの整理	志水
2	ソーシャルワークの社会的再編	関連文献の講読と応用	志水
3	交換様式の位相(互酬制 商品交換 制度的再分配)	関連文献の講読と応用	志水
4	交換原理と制度的再分配原理	関連文献の講読と応用	志水
5	社会構成体の歴史(資本 ネーション 国家)	関連文献の講読と応用	志水
6	功利主義的規範と社会福祉	関連文献の講読と応用	志水
7	リベラリズム的規範と社会福祉	関連文献の講読と応用	志水
8	コミュニタリアン的規範と社会福祉	関連文献の講読と応用	志水
9	グローバルな正義とコスモポリタニズム	関連文献の講読と応用	志水
10	贈与(日常)と援助(専門)	関連文献の講読と応用	志水
11	welfare(特殊)とwell-being(一般)	関連文献の講読と応用	志水
12	積極的価値(幸福、人権、自立)と消極的価値(具体的な悪の除去)	関連文献の講読と応用	志水
13	アイデンティティ・クライシス(交換的正義と分配的正義の葛藤)	関連文献の講読と応用	志水
14	正義と普遍性(リベラリズムの可能性)	関連文献の講読と応用	志水
15	社会福祉学原理の課題と展望	全体の総括	志水

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

文献・資料の分析・理解30%、 プレゼンテーション30%、 レポート40%により、総合的に評価する。

【教科書】

特に指定しない。必要な資料等については、適宜配布する。

【参考書】

必要に応じて、適宜提示する。

【学修の準備】

現代社会における社会福祉諸問題の中から、原理的課題を鋭く読み取り、そこに内在する論点の明示化に向けた思考を常に意識すること。